

## 溶岩の2大特徴 30種類のミネラル効果と持続する遠赤外線効果

### 水道水をケイ素ミネラル水にする・富士山溶岩

- ・水1ℓに溶岩1～2個(約30g)入れる。2ℓなら3～4個(約50g)
  - ・最初だけ、溶岩ミネラル水を作る時は、24時間経過後から飲み始めると良い。
  - ・その水にミネラルがあると、溶岩のミネラルはイオン化しているのでさらに増加する。
  - ・減った分だけ水道水を足すだけで良いのはその作用による。
  - ・溶岩のミネラルそのものが溶け出すのではないので半永久的に使える。
  - ・溶岩のミネラル水には30種類のミネラルが含まれている。
  - ・そのミネラルの約50%がケイ素(ケイ酸)。
  - ・他のミネラルは鉄、亜鉛、鉛、モリブデン、カリウム、マグネシウム・・・等の効果が働く。
  - ・水にミネラルが増えるだけでなく、殺菌力で水の長期保存が出来る。
  - ・ポリタンクを用意して順番に使えば、災害用の備蓄水が日常生活で準備できる。
  - ・お風呂に入れば、肌からもミネラルが吸収される。
  - ・溶岩効果で、余分な皮脂が取れて肌がすべすべになり体も芯からポカポカになる。
  - ・お風呂の雑菌やヌメリ、ニオイ等も殺菌力で消してくれる。
  - ・殺菌作用は、遠赤外線とミネラルのそれぞれの働きと相乗効果によって発揮される。
  - ・遠赤外線は空間を伝わる(通り抜ける)放射によって皮下組織や脂肪に熱を伝える。
  - ・放射熱が血管を拡張して血行が良くなり、脂肪が燃えて体が温まる。
  - ・体温が上がると微細血管がさらに拡張し、全身の代謝が盛んになる。
  - ・溶岩の遠赤外線は放射熱90%以上であり熱を加えるとさらに増幅する・マイカイロ。
  - ・溶岩からは太陽光のように紫外線は放射していないので安全。
  - ・溶岩プレートで肉(食材)を焼くと内部から焼けていくので肉汁、旨味を逃がさない。
- 
- ・溶岩は、★板状、◆小石状、■粒状、●粉末状等の天然石。
    - ★焼肉用の溶岩プレート
    - ★◆■お風呂に入れて芯からポカポカ。お風呂の水あか・ヌメリ除去
    - ★◆■●人肌で温める温灸。半永久的に使えるマイカイロ
    - ★◆■水やお湯に入れて何時でもどこでもマイミネラル水
    - ★◆料理用に炊飯や煮物に入れる、揚げ物油等に入れる
    - 繊維に練り込んだり、お菓子やせんべい等の食材に入れたり商業利用
    - 保湿クリーム等に耳かき一杯ほどを入れてマイクリーム
- 
- ・溶岩粉末を微量溶かして飲むとより直接的に効能が期待出来る。飲む温泉と同じ。
  - ・粉末溶岩は体に残ることはなく排泄され、排便のニオイ等も半年程で無臭になる。